バトンタッチ

今週は、毎朝、校門から昇降口にかけて、選挙運動が行われています。昼食時には、テレビ放送で立候補者が所信表明をしています。全校生徒には、立候補者が書いた所信表明のプリントが配付されています。学校は選挙運動で盛り上がりを見せています。

朝から、どの候補者も元気良くあいさつやアピールをしており、今の太宰府西中学校は活気に満ち溢れています。見ていてとても気持ちの良さを感じます。『自分が今、生活している場所をより良くしていこう！』『先輩方が作り上げてきた伝統を、自分が率先して引き継いでいこう』という気持ちが、どの候補者からも伝わってきます。

今回、定員７名の役職に、１９名が立候補しました。立候補者の数からも、学校を良くしたいという意欲が感じられます。これだけやる気のある人が多いことを私は嬉しく感じます。『学校を良くしたい！』という気持ちが立候補者から伝わってきます。私自身も、『もっともっと太宰府西中学校を良くするよう、努力しなければいけない』と思わせてくれます。今回の立候補者については、本音としては『これだけやる気のある人たちだから、本当は全員、生徒会役員になって欲しい』と思います。しかしながら、そうはいきません。ですので、まずは選挙運動に全力を尽くして欲しいと思います。

今回の選挙運動を見ていると、改めて、現生徒会執行部の頑張りが分かります。今の生徒会の活動が効果的で学校の雰囲気が良くなったからこそ、次の世代の人達が『自分もやってみたい』と思ったのだと思います。今の生徒会が魅力的でなければ、これだけ立候補は出ないと思います。ですから、１、２年生の皆さんには、今のバトンを引き継ぎ、よりいっそう太宰府西中学校が良くなるよう生徒会活動に取り組んでもらいたいと思います。

次の 星 が輝き始めました。バトンタッチで、学校が今後、どうなるか、楽しみです。

☆ 朝から、盛り上がっている選挙運動の様子です ☆